

各位



2022年6月22日

会社名：スターティアホールディングス株式会社
代表者名：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 本郷 秀之
(コード番号 3393 東証プライム)
問合せ先：取締役 植松崇夫
(TEL：03-5339-2109)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月20日にプライム市場の上場維持基準への適合に向けた計画書を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点における計画の進捗状況等について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間

(1) プライム市場適合状況

基準	プライム市場 上場維持基準	2021年6月30日時点 ※1	2023年3月31日時点 ※1	適合状況
株主数(人)	800	2,564	3,385	適合
流通株式数(単位)	20,000	53,684	51,843	適合
流通株式時価総額(円)	10,000,000,000	7,079,084,648	6,052,742,635	不適合
流通株式比率(%)	35	52.4	50.6	適合

※1. 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであります。

(2) 計画期間

2025年3月期末日までに上場維持基準を充たすために各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

プライム市場上場維持基準の適合に向けた「流通株式時価総額」の向上に向けた具体的な取組内容については、添付の「プライム市場上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」に記載のとおりです。

以上

プライム市場上場維持基準の適合に向けた 計画に基づく進捗状況について

2023年6月22日
スターティアホールディングス株式会社
(東証プライム 3393)

- 上場維持基準の適合状況および計画期間
- 上場維持基準の適合にむけた取り組みの基本方針
- 流通株式数の増加に向けた施策
- 株価の向上に向けた施策

上場維持基準の適応の状況および計画期間

【上場維持基準の適合状況】

基準	プライム市場 上場維持基準	2021年6月30日時点 ※1	2023年3月31日時点 ※1	適合状況
株主数（人）	800	2,564	3,385	○
流通株式数（単位）	20,000	53,684	51,843	○
流通株式時価総額（円）	10,000,000,000	7,079,084,648	6,052,742,635	×
流通株式比率（%）	35	52.4	50.6	○

※1.東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものであります。

【計画期間】

中期経営計画（2020年4月～2025年3月）の最終年度である2025年3月期末日までに上場維持基準の適合に向けた取り組みを進める。

上場基準の適合に向けた資本政策の基本方針

資本政策およびIR活動の強化により、流通株式数の増加、株価の上昇を促し、流通株式時価総額の達成を目指す

上場維持基準適合状況に関する
2023年3月31日時点の結果

流通時価総額
約60.5億円

1
流通株式数
5,184,362株^{※1}

2
株価
1,167.50円^{※2}

上場基準の適合に向けた
資本政策の一環として、
2021.12.20公表の
「大株主からの
自己株式取得+第三者割当
による新株予約権発行」
(以降、「本スキーム」)
を実施

1
完了
流通株式数の増加に向けた施策
大株主からの自己株式取得
1,185,000株取得 →
607,100株分を新株予約権へ割当行使済
+
第三者割当による新株予約権発行
15,800個 →
6,071個 (自己株式割当607,100株)
行使済 ※残9,729個は消却済

2
継続中
株価の向上に向けた施策
中期経営計画の進捗・達成
IR活動の強化
株主還元の強化
株式流動性の向上

2025年3月期末時点
目標

流通株式時価総額
100億円以上

1
流通株式数
増加

2
株価
向上

※1：2023年3月31日時点

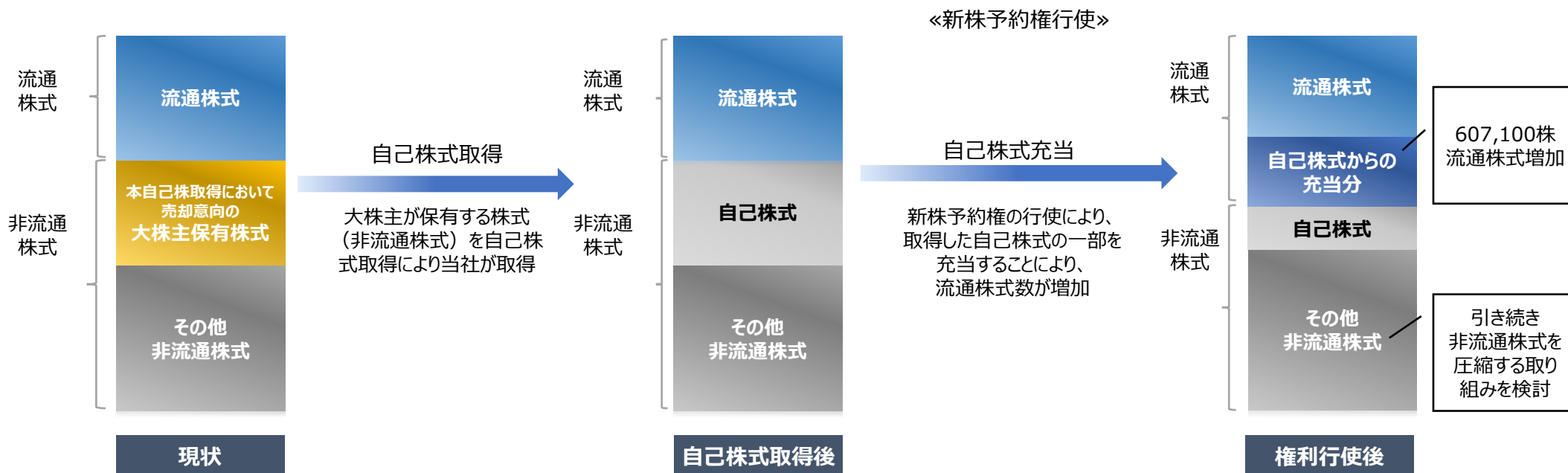
※2：2023年1月1日から同年3月31日までの東京証券取引所における日々の最終価格の平均値（小数点第三位以下、省略）

本スキームの狙い ～流通株式数の増加～

完了

「大株主からの自己株取得+第三者割当により発行される新株予約権行使」による流通株式数の増加

流通株式数の変化イメージ



※ 2023年3月9日公表の「第6回新株予約権（行使価額修正条項付）の取得及び消却の完了に関するお知らせ」の通り、本スキームは完了しております。

株価の向上に向けた施策（業績の向上）

継続中

業績の向上

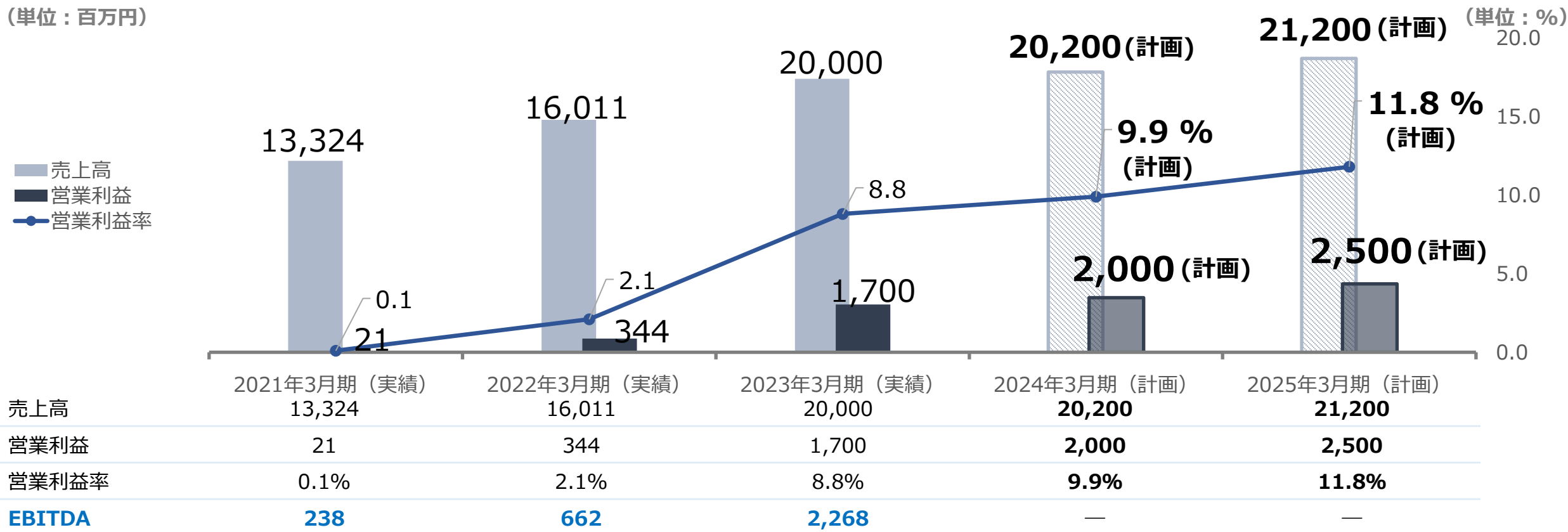
➤ 中期経営計画NEXT'S2025の着実な進捗・達成

グループ連結業績推移・計画

- ・2023年3月期で売上高・各段階利益で過去最高を更新！
- ・2024年3月期営業利益20億円、2025年3月期営業利益25億円を達成し、更なる利益拡大へ進める。

※中期経営計画「NEXT'S 2025」の詳細につきましては、2023年5月23日公表の「（訂正）『（修正）中期経営計画「NEXT'S 2025」の修正に関するお知らせ』の一部訂正について」をご参照ください。

（単位：百万円）



継続中

IR活動の強化

- 投資家面談の機会増加
- SNSを含めた様々な積極的開示

引き続きIR活動の強化を実施

- ・機関投資家との1on1ミーティングを精力的に実施
- ・個人投資家向け説明会を実施することで、認知度向上
- ・当社IR Webサイトの情報拡充（動画配信のIR Channel、アナリストレポート掲載等）
- ・IR、PRの積極的な開示、SNSやメール配信の実施。

投資家面談の機会	2021年4月 – 2022年3月実績	2022年4月 – 2023年3月実績
機関投資家ミーティング (1on1ミーティング、スモールミーティング、決算説明会) <small>※同じ方との四半期毎のミーティングは重複カウントしております。</small>	106名	102名
個人投資家向け説明会	3回（累計参加者数503名）	4回（累計参加者数1,558名） <small>※1か月間のオンデマンド配信含む</small>
積極的開示	2021年4月 – 2022年3月実績	2022年4月 – 2023年3月実績
PR情報開示件数 <small>※別途、適宜SNS発信、メール配信実施</small>	48件	73件

株価の向上に向けた施策（株主還元の強化）

継続中

株主還元の強化

➤ 配当性向の増加

当初

基本方針は2023年3月期までは+ 1円累進配当を実施、
2024年3月期より配当性向30%へ

変更
2023年2月時点

配当性向30%を1年前倒しし、2023年3月期より実施

変更
2023年5月時点

2024年3月期より配当性向35%の株主還元を実施

